

第16回学生生活調査結果に基づく全学支援・改善事項

調査項目	全学支援・改善事項	対応状況
Ⅱ 生活状況について	【寮建設にあたっての情報提供】 文教キャンパス敷地内に、民間資金による寮を建てる計画があるが、本調査では是非入寮したい学生の割合(学部学生)は12.2%、条件によると回答した学生は53.3%となる。上記のうち77%が重視するものが「家賃」、ついで「寮の形態」となっていることがわかった。前回の学生生活調査では家賃は4万円未満を希望する学生が70.9%。バス・トイレ付の個室を希望する者が77.4%であったこと、支払い家賃の平均額などの情報を提供し、現実的に学生のニーズにあった寮の建設に繋がるようにする。(あまり家賃が高い寮となると、学生のニーズに合わず、空室が出る可能性が高い)	学生宿舍の建設に伴い、学生に今後情報提供していく旨メールで周知した。 引き続き情報収集し、必要に応じて情報提供する。
Ⅴ キャンパス全般について	「文教キャンパスの押しチャリゾーンの再啓発」 文教キャンパス内に「ここでは自転車は押して通ってください」という標識が残っているが、学生や通行する一般の方でも押さずにかなりのスピードで通り過ぎていくことが多い。自転車を危ないと感じたことがある学生の割合は文教キャンパスで2017年25.27%、2019年28.35%、2021年16.19%、坂本キャンパスで2017年12.93%、2019年15.88%、2021年10.35%、片淵キャンパスで2017年13.85%、2019年16.64%、2021年9.06%と減ってきているが、文教キャンパスでは今だ16%以上の学生が自転車を危ないと感じたことがあり、オンライン授業から対面授業中心に移行してきている現在、文教キャンパスの押しチャリゾーンをもう一度再認識させるように広報し、構内の交通面での安全に通行できるように意識づけしていきたい。	文教キャンパスでは、押しチャリゾーンに目に留まるような大きな標識を新たに15個設置した。 学生には再度NU-Web掲示板及びメールで注意喚起を行った。
	「学内体育施設の使用（予約）方法の周知」 体育施設（体育館・グラウンド）について満足していますか？に対して満足している学生の割合が2017年85.9%、2019年88.3%、2021年75.2%と低くなってきている。コロナ禍の中、利用禁止にした時期があったことも原因と思われるが、「不満の理由」の中の1位が「もっと学生が気軽に利用できるように、使用（予約）方法と申請方法を簡略化して欲しい」とあり、確かにわかりにくい部分があるので、利用条件や申請方法をわかりやすくHP等で周知するようにする。	Web予約に移行するために情報企画課や業者と打合せを行い、テスト環境の構築を行った。 来年度以降稼働に向けてWeb予約の検討を継続する。
Ⅶ 学生相談体制について	「学生相談体制の認知度の向上」 相談体制の周知について、前回も支援改善事項としており、学生何でも相談室を知らない学生の比率は2017年26.1%、2019年18.8%、2021年15.7%と減り、キャリアセンターの場所についても2019年は46.7%が知らないと回答しているのに対し、2021年は31.2%に減っている。 一方、ハラスメント相談員の制度を知っているか？に対し、知っているの比率が2017年17.1%、2019年14.8%、2021年11.4%と、制度の認知度は落ちており、上記相談窓口全般においても47.4%がほとんど知らないと回答している。 健康状態の回答においても「精神的悩みや不安」と回答する学生も多く、悩みを打ち明ける友人も少なくなっている傾向もみられることから、大学の相談体制について、更なる周知を行って行く。	学生相談支援等協議会において、「学生何でも相談室」の在り方を見直し、専門部署等へ繋ぐ窓口としての役割を再確認した。 また、大学HPもわかりやすい文面に更新し、ハラスメント相談についてもHP上でより上位の目につく場所に配置を変更し、再度学生へNU-Web掲示板及びメールにより周知を行った。

第 1 6 回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R5.3末日現在対応状況
【学部】				
多文化社会学部	キャンパス全般	総合教育研究棟のトイレの清潔さに関する苦情	令和4年度より清掃業者を変更し、清掃が徹底されるようになった。さらに、総務係と連携する体制を作り、観察を続けている。	清掃状況について学生からの苦情は特段なく、引き続き観察を続けている。
	大学生活全般(就職・キャリア支援)	大学院進学希望者への進学・キャリア支援の要望	多文化社会学部のキャリア支援室では大学院進学予定者に対しても面談を行っていることを、キャリア形成に関する3年生の必修授業の中で周知する。	3年次必修授業「キャリア形成論」において、全員が就職支援室での面談が必須である旨、担当教員から周知するとともに、就職支援室からもメール等で積極的に呼びかけを行い、履修者全員との面談実施を促した。
教育学部 (教育学研究科も同じ)	キャンパス全般	冷暖房設備（エアコン）の点検・修理	講義室等の冷暖房設備の点検を行い、必要に応じて修理等の対応を行う。	以下のとおり修繕等を実施済み ○本館6階632共同演習室空調機修理 ○教育実践総合研究棟1階情報教育実験室空調機修理 ○音楽棟 音楽第1・第2教室空調機修理 ○本館2階25番講義室空調機修理 ○教育実践総合研究棟2階演習室 1 空調機調査復旧作業
	キャンパス全般	トイレ設備の点検・修理	学部内のトイレ設備について点検を行い、必要に応じて修理等の対応を行う。	以下のとおり修繕等を実施済み ○2F男子便所自動水栓2台修理 ○4F男子トイレ ウォシュレット計3台取替 ○6F男子・女子トイレ自動水栓 計4台修理 ○本館4階女子便所自動センサー修理 ○音楽棟1F男子トイレ小便器詰り修理 ○2F南・6F南身障者用トイレ洗浄ポンプ 計2台修理 ○5階男子便所自動水栓修理 ○1階女子便所自動水栓2台修理
経済学部 (経済学研究科も同じ)	キャンパス全般	キャンパス内道路の整備	修繕必要箇所の把握や情報収集の方法を検討し、速やかな事案対応を図る。	道路のみに限らずキャンパス内の環境整備として、総務係による定期的な目視点検や、教員を含めた学部構成員からの情報提供により修繕必要箇所を把握し、速やかな対応を可能とした体制により整備を行った。
	キャンパス全般	自動販売機の充実	文教キャンパス並みとまではいかずとも、学生の声を尊重し、関係部署へ働きかける。	長大生協へ現在設置の自動販売機の内容多様化及び種類等増設について相談を行った。これまでの設置についても結論までには時間がかかっており、事業運営上の営業的な判断が伴うものであるが、検討いただけることとなった。
	キャンパス全般	体育施設利用の手続き簡素化	利用手続きに関し、施設管理上及び防犯上に十分留意のうえ、現状の申請書類の提出による許可制を簡素化へ見直す。	本学部一般学生は令和5年1月から、それまでの複写様式の「片淵地区施設使用願」に代え、使用台帳形式での申請・許可とし、施設使用許可決裁も、学務係長での専決として簡素化及び迅速化を図った。
医学部 医学科	修学	カリキュラムの評価・改善	カリキュラム評価委員会を開催し、学生の意見・要望を反映するような体制について検討する。	3月にカリキュラム評価委員会を開催し、学生から意見を聞き取った。今後、学生に対してアンケートを実施し具体的な問題点の洗い出しを予定している。
	キャンパス全般	トイレ設備の老朽化対応	老朽化しているトイレを改修する。	基礎棟 1 階のトイレを改修した。
	キャンパス全般	体育館の設備関連（老朽化、増設、新設）	体育館の老朽化または故障している設備の改修を行う。	冷水器を改修した。
医学部 保健学科 (医歯薬学研究科保健学専攻も同じ)	健康	Withコロナに対応した健康管理の支援	感染予防および状況に応じた行動制限が守られ、臨地実習が安全に実施できるよう、支援を行う。大学全体の規制と実習等に伴う条件の持つ意味を適切に理解し、行動化できるよう細やかな情報提供を行う。	保健学科全体の方針を定め、各実習施設および学生双方の安全に配慮した実習調整を行った。実習前より感染症による欠席の場合、補講実習の機会を作ることオリエンテーションし、実習前の行動制限、健康管理を学生と共に実施した。
	キャンパス全般	医歯薬学総合教育研究棟および保健学科棟の生活環境の整備	グループおよび個別で学習できるスペースの利用方法や条件を明示する。また、トイレ環境（自動照明の点灯時間、液体せっけんの造設）等は、医歯薬学総合教育研究棟においては、共同して使用する他部署と相談しながら改善を図る。	警備による施錠があるまでは、講義室の使用を認め、退室時の消灯・エアコンオフの掲示を行った。トイレの自動照明の点灯時間の延長は対応済み、液体せっけんの造設はデispenserの設置箇所を業者と調整中である。
	学生相談体制	健康上の諸問題に対する対処の充実と相談体制の周知	コロナ禍で学年を超えた交流の機会が限られ、学生間での学習や生活に関する情報共有の機会が減少している。アドバイザーや学年担任、なんでも相談員等を介して、アドバイスをできる先輩を紹介するなど、学生間の交流の機会を作る。また、学生委員会および年2回の拡大学生支援協議会により、支援が必要な学生の早期発見および学習や生活上の調整につなげる。	健康管理システムの継続入力をアドバイザーや学年担任を通して依頼するなど、密な連絡のきっかけを作った。カウンセラーの紹介と合わせて、予約QRコードを学生に周知した。学生相談支援協議会を2回開催し、カウンセラーと専攻全体での情報共有を図った。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R5.3末日現在対応状況
歯学部	キャンパス全般	トイレの整備	照明設備等人感センサー導入の一環として、トイレの24時間換気について検討し、衛生面の向上をはかる。	施設部と連携し、24時間換気されることを確認した。
	大学生活全般(授業)	授業周知方法の改善	同日の午前もしくは午後の授業を担当する教員間で予め授業形式を話し合い、いずれかに統一した上で、少なくとも前日夕方までに学生にLACS等を用いて周知する。	令和5年度は基本的に対面での実施となるが、授業形式の変更については早めの周知を教員へも依頼した。
	大学生活全般(就職・キャリア支援)	学生サポート体制の強化	各学年の担任として教員3名を置いているが、個人的に面談する機会はなかった。また大学の相談窓口は全学のHPに示されているのみだった。そこで入学後、一度は学生担任との個人面談の機会を設定する。一度面談を行えば、その後の相談の窓口に困ることはないと思う。可能であれば毎年一度の面談を行うようにする。また歯学部の学務係の前の学年ごとの掲示等で担任と相談窓口を掲示することで学生が相談の機会を得やすくする。	従来の学年持ち上がり型担任教員3名に加え、学年固定型の担任教員2名を追加し、1学年5名の体制とした。 学生に対してもあらためて学年担任の周知を行った。
薬学部(博士前期課程生命薬科学専攻も同じ)	大学生活全般(施設)	学内で不審者を見つけたときの連絡先を掲示	トイレなどの掲示物の点検を行い、学務や守衛室の電話番号の記載がない場合は貼り替える。	2022年12月8日に、文教・坂本の薬学系学生が使用するトイレすべてを点検し、学務や守衛室の電話番号の記載がない場合は貼り替えた。
	大学生活全般(施設)	低学年向けに研究室紹介の機会を増やす	実際に研究室での活動を体験できる低学年向けの新規科目を開講する。	実際に研究室での活動を体験できる「薬学概論Ⅲ」を、2023年2-3月に2年次向けの科目としてトライアル開講した。R5以降は、正式科目として開講する。
	大学生活全般(その他)	研究室の空調について、節電も踏まえた設定温度の目安を提示	夏季と冬季の空調使用の目安温度、効率的な運転方法を掲示。	夏季と冬季の空調使用の目安温度、効率的な運転方法を教員会議にて周知するとともに、温湿度計に目安温度表示を貼付している。
情報データ科学部	キャンパス全般	トイレの整備	トイレの衛生環境の改善を申し入れる。	トイレの使用状況を点検した。使用状況が悪い場合は状況に応じて引き続き対応する。
	大学生活全般(就職・キャリア支援)	就職支援	就職支援について、キャリアセンターの認知度を上げる。やってみゅーでスクの認知度を上げる。	学部の就職担当教員とキャリアセンターや就職支援に関する周知について検討中。
	大学生活全般(課外活動)	課外活動	ICTの現場に行かないと講義だけでは飽きる学生がいるので、インターン募集やPBLを積極的に告知する。	インターン募集の案内を行った。
	大学生活全般(施設)	多目的ホールの電源タップの整備	多目的ホールの机の電源タップの修理及び設置を検討する。	検討の結果、今年度の予算では対応できなかったため、来年度の予算計上を要望する。
工学部（工学研究科も同じ）	キャンパス全般	女子トイレ増設の要望	工学部では1号館4階の男子トイレを女子トイレに変更。適正に増やす予定である。	工学部1号館4階の男子トイレを女子トイレに変更。今後も適正に増やす予定。
	キャンパス全般	カフェなどの和める場所、学生が集まれる場所の整備	リフレッシュルームに雑誌コーナーを検討している。	雑誌コーナーは設置せず、リフレッシュルームの利用方法を見直して和める場所に整備する予定。
	キャンパス全般	アルコール関連問題の啓発による事件・事故等の防止	学外者から学生の飲酒によるトラブルやマナーについての苦情が寄せられたため、11月10～16日の「アルコール関連問題啓発週間」や4月の「20歳未満飲酒防止強調月間」に合わせて啓発・注意喚起を行う。	11月の「アルコール関連問題啓発週間」に合わせてNU-Web掲示板とメールで啓発・注意喚起を行った。また、4月のオリエンテーションでも注意喚起を行う予定。
	キャンパス全般	学生駐輪場の整理	駐輪場以外に止めてる自転車の整理、警告シールを貼り注意喚起を行っている。	放置自転車の整理、警告シールを貼り注意喚起を実施した。また、放置自転車の整理を行った。
環境科学部（博士前期環境科学専攻も同じ）	キャンパス全般	女子トイレの改修工事	和式から洋式トイレの改修工事及びトイレ個室内のプライバシー確保のための壁増設工事を行う。	令和4年10月に様式トイレ改修工事及び壁増設工事を行った。
	キャンパス全般	防犯カメラの増設	犯罪を未然に抑止（学生の安心感）及び事件早期解決を目的として、講義棟1階出入口に防犯カメラを増設する。	令和4年10月にカメラ増設工事を行った。
	大学生活全般(就職・キャリア支援)	キャリアプラザの周知強化	キャリアプラザの活用について改めてメールやセミナー等を通じて周知する。	定期的にキャリアプラザの活用についてメールや掲示にて周知を行った。
水産学部（水環研博士前期水産学専攻、博士後期、5年一貫も同じ）	キャンパス全般	駐輪場の整備	水産総務裏手に水産学部の屋根付き駐輪場を整備したが学生への周知が不十分であったため、学生に掲示やメールで場所を周知する。	水産総務裏手にある水産学部の屋根付き駐輪場について、掲示やメールによる周知及び利用の促進の呼びかけが完了した。
	キャンパス全般	トイレ設備の対応	夏季は節電のため、温水便座のスイッチを切っていたが、便座が冷たいという意見がありスイッチを入れる期間を学生に掲示やメールで周知する。	温水便座の保温設定を行う期間について、掲示やメールによる周知が完了した。
	大学生活全般(施設)	雨漏りへの対応	水産学部実習棟に雨漏り箇所があり、対応工事を依頼する。	施設部に対応を依頼し、雨漏り箇所の工事が完了した。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R5.3末日現在対応状況
【研究科】				
多文化社会学研究科	大学生生活全般(施設)	本学の図書館の蔵書が少ないという苦情	図書館のリクエストの仕組みについて、オリエンテーションなどの際に周知する。	在学生にはメールで周知を行った。新入生にはオリエンテーションの際に周知する。
	大学生生活全般(施設)	総合教育研究棟における院生の研究スペース確保の希望	院生は、それぞれの指導教員が使用している総合教育研究棟の演習室を使うことができることを、メールやオリエンテーション等で周知する。	在学生にはメールで周知を行った。新入生にはオリエンテーションの際に周知する。
	大学生生活全般(経済支援)	院生に対する経済的支援について	T Aの活用や奨学金などの院生に対する経済的支援についての情報をより頻繁に周知する。	従前よりメール・掲示板による周知を行っていたが、引き続き、院生に対する経済的支援についての情報を周知する。
医歯薬学総合研究科(博士課程)	キャンパス全般	トイレ関連設備の改善	トイレの改善については多数意見が寄せられているが、消毒液の増設、手拭きペーパーの設置の検討等を行う。	消毒液の増設を行った。 なお、手拭きペーパーの設置については、経費や補充等の問題から、今回は見送った。
	キャンパス全般	駐輪場の利便性を向上させるために、放置自転車の調査及び撤去を検討	文教地区で実施される全学的な撤去時期に合わせて実施を検討する。	放置自転車の調査を行ったが、撤去する自転車なかった。今後も引き続き調査を行って対応する。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	生活状況	留学生のチューター制度について、留学支援課の実績に沿ってT MGHでオリエンテーションを実施し、携帯電話やクレジットカードなどの契約業務に関して、統一的なフォーマットを提供できるようにする。	10月4日（火）午後実施予定であり、別途、ボランティアの方々にも協力いただきながら進めている。	2022年10月入学者対象として、10月4日に日本人用と留学生用に分けてチューター制度に関するオリエンテーションを実施した。また、計画通り外部支援者と連携を取り、サポートすることができた。
	学生相談体制	特にサテライト学生については身分異動や長期履修の短縮などの教務相談が多いため、TEAMSから事務方個別相談できる体制を作成する。	TEMASでのチャット相談のみならず、TEAMS通話での個別相談も4件ほど受けており、社会人学生の需要は高い。	左記対応状況の通り、コミュニケーションツールを使用し適切に面談を行っている。また、ニーズが高い身分異動の相談に関しては授業料も関係することから、Youtubeに解説動画を作成した。また、今後はGooleサイトにプラットフォームを作成し、修学対応と業務効率化の両面を目的に整備を開始している。
	学生相談体制	学生と教員と事務職員が繋がりがながら、学生の修学と生活サポートの体制を構成するため、入学の早い段階で合宿研修を行い、支援体制を強固なものにする。	10月7日（金）～8日（土）に諫早青少年自然の実施予定であり、教員、学生及び事務職員を含めて50名程度が参加予定である。	先の計画通りについて、実施済みであり、宿泊の機会を通して各学生のバックグラウンド及び留学生の生活文化などを実地を通して理解することができた。学生アンケートの実施結果からも好評であったため、次年度以降も今回のノウハウを活かし予定である。